

平成 28 年度事業報告

【総括編】

約 1,100 の会員企業が集まる公益社団法人としての役割・使命を果たすため、平成 28 年度も、社会貢献と会員への支援を両輪として事業を展開した結果、総じて例年どおりの実績を上げ、概ね順調に終了した。

1 主な事業実績

(1) 主要指標

事業名等	平成 28 年度 (A)	平成 27 年度 (B)	増 減 (A) - (B)	摘 要	
(不法投棄防止活動)					
社 会 貢 献	県等主催街頭キャンペーン等 参加者数	117 名	208 名	△91 名	7 支部全てで実施 12 月の街頭キャンペーン中止 (P6～P7)
	不法投棄撤去作業 参加者数 箇所数	305 名 9 箇所	182 名 5 箇所	123 名 4 箇所	7 支部全てで実施 (P7)
(災害対策支援事業)					
会 員 へ の 支 援	情報伝達訓練 参加会員数 調査票回収率	348 社 80.2 %	352 社 66.5 %	△4 社 13.7 %	(P8)
	ぼくらはさんぱい探偵団 参加者数	129 組 323 名	139 組 346 名	△10 組 △23 名	7 支部、8 コースで実施 (P9)
	施設見学会大学生等 参加者数	46 名	60 名	△14 名	静大、県立大 (P9)
	環境イベント等啓発活動 参加者数	84 名	59 名	25 名	7 支部全てで実施 (P10)
	講習会等	開催回数 受講者数	39 回 2,978 名	32 回 2,895 名	7 回 83 名
会 員 へ の 支 援	各種講習会等	21 回 720 名	14 回 473 名	7 回 247 名	電子マニフェスト関連講習会 の増加等 (P11～P12、P16)
	業許可等講習会	11 回 1,451 名	11 回 1,455 名	0 回 △4 名	(P14)
	各支部の勉強会等	7 回 807 名	7 回 967 名	0 回 △160 名	7 支部全てで実施 (P15)
会 員 へ の 支 援	マニフェスト頒布枚数	340,100 枚	331,100 枚	9,000 枚	建設マニフェストの増加 (P14)
	本部主催の視察研修会 参加者数	93 名	96 名	△3 名	(P16)
	各支部主催の視察研修会 参加者数	104 名	102 名	2 名	7 支部全てで実施 (P16)
	表彰件数	25 件	19 件	6 件	知事褒賞、会長表彰、 全産連会長表彰 (P17)
	会員数	1,080	1,090	△10	24 年度 △18 25 年度 △27 26 年度 △19 27 年度 △28
※会員への支援には、この他、指標には表しにくい情報の収集・提供、相談などがある。					
※網掛けは、業績が一定程度上がったもの。					

(2) 平成 28 年度事業実績における特記事項

- ① 会員証と倫理綱領のセットの全会員への配布及び会員からの誓約書の提出 912 会員 (84%)
※平成 29 年 3 月 31 日現在 会員数 1,080 平成 28 年 5 月～ (P21)
- ② 中部四県「産業廃棄物不法処理防止連絡協議会」合同会議の本県開催
5 月 (P8)
- ③ 中部地域協議会平成 28 年度第 1 回会議の本県開催 7 月 (P20)
- ④ ダイコー事件を踏まえた食品廃棄物の適正処理に係る研修会の開催
7 月 (P11)
- ⑤ 医療廃棄物 3 都県協会合同懇談会の本県開催 9 月 (P12)
- ⑥ 青年部の山梨県協会青年部及び神奈川県協会青年部との富士山合同清掃活動の実施
9 月 (P13)
- ⑦ 平成 29 年度労働災害防止計画の策定及び会員への周知 11 月 (P16)
- ⑧ 伊豆支部の不法投棄撤去作業に県から感謝状の授与 11 月 (P7)
- ⑨ 青年部の静岡県トラック協会青年部との合同勉強会の開催
平成 29 年 1 月 (P14)
- ⑩ 医療廃棄物専門部会による感染性廃棄物等の適正処理のための「3 都県協会共同宣言」の策定 3 月 (P13)

【要約編】

《社会貢献》

1 不法投棄防止活動

(1) 街頭キャンペーンや統一パトロールへの参加協力 (P6～P7)

6月の環境月間や12月の不法投棄撲滅強化月間を中心に、静岡県等が実施する不法投棄撲滅街頭キャンペーンや不法投棄防止統一パトロールに支部毎に取り組み、役員等計117名が参加、協力した。

(2) 不法投棄廃棄物の撤去作業等の実施 (P7)

不法投棄の抑止や地域環境の保全のため、各支部が県健康福祉センターや最寄りの市などの協力を得ながら役員や会員等計305名の参加により、県内9か所の不法投棄廃棄物の撤去作業等に取り組んだ。

また、今年度も、富士支部が県の富士山麓不法投棄廃棄物撤去事業に協力し、この富士支部の撤去作業は、TV放映や新聞報道された。

2 災害対策支援事業の実施 (P8)

平成29年1月17日に静岡県が実施した地震対策オペレーション2017(大規模図上訓練)に併わせて、協力会員348社を対象に災害廃棄物処理情報伝達訓練を実施した。

また、静岡県が主催する災害廃棄物処理に関する会議等に参加し、意見交換や情報収集に努めた。

3 小学生の親子を対象とした環境学習「ぼくらはさんばい探偵団」の実施 (P9)

平成5年度から24年間継続実施している、「ぼくらはさんばい探偵団(夏休み産業廃棄物処理施設親子見学会)」は、7支部8コースで実施し、小学生の親子等計129組、323名が参加した。

「ごみをととても丁寧に分別していて驚いた。チョコレートの廃棄物も動物のえさになり、無駄をなくしていることに感心した。」「ほこりっばい中での作業は大変な仕事だと思った。ごみを出す時はちゃんと分別しようと思った。」「地球にやさしい企業だと思った。エコキャップ運動、盲導犬育成への貢献など社会貢献もしていることからすばらしいと思った。」などといった参加者の感想文にみられるように、この事業は身近な環境学習の場の提供として意義のあるものに育っている。

4 大学生を対象とした処理施設視察会等の実施 (P9)

「ぼくらはさんばい探偵団」の大学生版として、県立大と静岡大の学生を対象に各1回実施し、両大学併せて学生等46名が参加した。県立大ではこの視察会がカリキュラムに組み込まれ、単位取得も可能になっている。

5 環境イベント等への参加による啓発活動 (P10)

各支部の役員や会員が最寄りの市等が実施する環境イベント等に参加し、不法投棄の防止や3Rの推進などの啓発活動を行った。東部支部では、会員企業が提供したりサイクル品等を販売し、その売上収益金約16万円を慈善事業に寄託した。

《会員への支援》

1 情報の収集・提供

(1) 全国的な会議等への参加による情報収集 (P11)

(公社)全国産業廃棄物連合会や中部地域協議会等が実施する全国的な各種会議等(計16回)に役員等が積極的に参加し、意見交換や情報収集に努めた。

(2) タイムリーな情報提供、相談への随時対応 (P14、P11)

機関誌「しずおかの産廃」やホームページ、支部だよりの発行(伊豆、東部、中部、志太榛原の各支部)などにより、会員へのタイムリーな情報提供に努めるとともに、会員からの相談にも随時対応した。

2 各種講習会・研修会の開催

(1) 実務向上研修会等の開催 (P11~P12)

産廃処理に係る実務の向上等を図るための「産業廃棄物処理実務者研修会」や「電子マニフェストシステム実務研修会」、「優良認定制度普及研修会等」を静岡市や浜松市等で19回開催し、計549名の参加があった。

特に、当協会の職員が講師を務めた電子マニフェストの研修会などは好評であった。

(2) 産業廃棄物処理業許可等講習会の開催 (P14)

(公社)全国産業廃棄物連合会等と連携協力し、新規許可申請者や更新許可申請者等を対象とした講習会を11回開催し、計1,451名の参加があった。

(3) 暴力追放推進に関する講習会の開催 (P16)

暴力追放の推進を図るため、昨年12月に開催した「不当要求防止責任者講習会」では107名の参加があった。

(4) 各支部主催の勉強会等の開催 (P15)

各支部において、「廃棄物の判断基準を学ぼう」や「PCB廃棄物の適正な処理」などといったテーマによる勉強会等を7回開催し、計807名の参加があった。

(5) 廃棄食品の適正処理の推進に関する研修会の開催 (P11)

平成28年1月に愛知県下で発生した廃棄食品の不正転売事件を踏まえ、「食品廃棄物の適正処理に係る研修会」を開催し、84名の参加があった。

3 専門部会等の活動 (P12~P14)

医療廃棄物、建設廃棄物、食品廃棄物の各専門部会は、幹事会や講習会の開催、先進事例の視察、(公社)全国産業廃棄物連合会の専門委員会等への参加などを通じて活発に活動した。

このうち、医療廃棄物部会は、(一社)東京都産業廃棄物協会や(公社)神奈川県産業廃棄物協会との医療廃棄物合同懇談会を静岡市で開催するとともに、医療廃棄物の適正処理に向けた「3都県協会共同宣言」を策定した。

また、青年部会は、中部ブロック事業への参加・交流をはじめ、(一社)山梨県産業廃棄物協会青年部や(公社)神奈川県産業廃棄物協会青年部会との富士山合同清掃活動、(一社)静岡県トラック協会青年部会との合同勉強会の開催等精力的に活動した。

4 先進事例等の視察研修会の実施

(1) 本部主催の視察研修会 (P16)

幅広く環境情報等を収集するため、昨年5月に会員等93名が参加し東京ビッグサイトで開催された「2016NEW環境展」を対象に視察研修を行った。

(2) 各支部主催の視察研修会 (P16)

昨年秋から今年の春にかけて各支部毎に会員等計104名が参加し県内外の優良施設等を対象に視察研修を行った。

5 表彰

(1) 知事褒賞 (P17)

昨年6月7日に開催された定時総会に先立ち、平成27年度産業廃棄物適正処理推進功労者知事褒賞授与式が行われ、会員企業1社が受賞された。

(2) (公社) 静岡県産業廃棄物協会会長表彰 (P17)

昨年6月7日に開催された定時総会に先立ち、平成27年度会長表彰が行われ、功労者表彰5名、優良従事者表彰9名、優良事業所表彰2社が受賞された。

(3) (公社) 全国産業廃棄物連合会会長表彰 (P17)

昨年6月17日に開催された(公社)全国産業廃棄物連合会定時総会に先立ち、平成28年度同連合会会長表彰が行われ、当協会関係では、功労者表彰1名、優良事業所表彰1社、地方功労者表彰2名、地方優良事業所表彰1社、優良従事者表彰3名が受賞された。

《管理運営》

1 定時総会・理事会等の開催 (P18~P20)

定時総会が昨年6月に、また、理事会が昨年4月、6月、10月、今年の3月に開催され、予算や決算、任期満了に伴う役員改選等に関する議案が決議されるとともに、事業報告等も行われた。

また、運営、適正処理、広報等の各委員会も必要に応じて開催され、活発な議論等が行われた。

2 新規会員の入会促進と会員管理システムの運用 (P21)

講習会などにおいて入会案内の配布等により新規会員の入会促進に努めたが、6件の入会にとどまった。その一方で16件の退会等があったため、平成28年度末の会員総数は1,080会員となっている。

3 会員証と倫理綱領の全会員への配布及び会員からの誓約書の提出 (P21)

ダイコー事件を踏まえ協会一丸となって適正処理を進めるため、会員証と倫理綱領をセットにして全会員へ配布するとともに、会員から誓約書を提出していただいた。

※誓約書の提出 912会員(平成29年3月31日現在)

※ この要約編は、「社会貢献」、「会員への支援」、「管理運営」という3つの切り口でその要点を詳細編から抜き出してとりまとめているので、詳細編の項目立て等とは必ずしも一致していない。

【詳細編】

I 公益目的事業

1 適正処理推進事業

(1) 不法投棄防止活動事業

- ① 支部役員等が全国ごみ不法投棄監視ウィーク（5月30日から6月5日）や環境月間（6月）に静岡県等の実施する統一パトロールや街頭キャンペーンに参加、協力した。

i) 不法投棄防止統一パトロール

実施日：平成28年5月30日

実施機関		場 所	協会参加者
静岡県	賀茂健康福祉センター	下田市	伊豆支部役員3名
	東部 //	沼津市、裾野市、伊豆の国市、長泉町、御殿場市	東部支部役員12名
	中部 //	焼津市、藤枝市、島田市、牧之原市、吉田町、川根本町	志太榛原支部役員12名
	西部 //	磐田市、袋井市、掛川市	中遠支部役員3名
浜松市		浜松市	西部支部役員等12名
計			42名

ii) 不法投棄撲滅街頭キャンペーン

実施日：平成28年6月1日

実施機関		場 所	協会参加者
静岡県	廃棄物リサイクル課	JR静岡駅	中部支部役員等17名
	賀茂健康福祉センター	とうきゅうストア下田店	伊豆支部役員2名
	東部 //	JR沼津駅	東部・富士支部役員等14名
	中部 //	JR藤枝駅	志太榛原支部役員等10名
	西部 //	マックスバリュ磐田新貝店	中遠支部役員9名
計			52名

- ② 支部役員等が不法投棄撲滅強化月間（12月）に静岡県の実施する不法投棄防止統一パトロールに参加、協力した。

不法投棄防止統一パトロール

実施日：平成28年12月2日

実施機関		場所	協会参加者
静岡県	賀茂健康福祉センター	下田市	伊豆支部役員3名
	東部	沼津市、御殿場市、裾野市、伊豆の国市、長泉町	東部支部役員8名
	中部	焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町	志太榛原支部役員10名
	西部	磐田市、袋井市、掛川市	中遠支部役員2名
計			23名

- ③ 不法投棄の抑止や地域環境の保全のため、各支部において最寄りの行政機関等の協力を得て不法投棄廃棄物の撤去・処分作業等を実施した。

支部名	実施日	実施機関	場所	実績	参加者
伊豆	平成28年8月24日	伊豆支部 静岡県、伊東市	伊東市八幡野	混廃8㎡、 その他がれき9.5㎡	伊豆支部役員、県職員、 伊東市職員等21名
	平成29年3月16日	伊豆支部 静岡県、伊東市	伊東市富戸	混廃16㎡、金属くず5㎡、 その他がれき4㎡、 石膏ボード1㎡	伊豆支部役員、県職員、 伊東市職員等22名
東部	2月1日	東部支部 静岡県	長泉町東野	建設廃材木くず 4t	東部支部役員、県職員、 長泉町職員等17名
富士	平成28年12月14日	富士支部 静岡県	富士宮市猪之頭	がれき類 43.3t	富士支部役員、県職員等22名
中部	7月26日	中部支部 静岡市	静岡市清水区	一般廃棄物等 1.16t	中部支部役員、静岡市職員等31名
	12月2日	中部支部 静岡市	静岡市駿河区	一般廃棄物等 0.17t	中部支部役員、静岡市職員等15名
志太榛原	平成29年2月23日	志太榛原支部 静岡県	藤枝市瀬戸ノ谷	廃タイヤ80本 がれき類1.2㎡	志太榛原支部会員、 県職員等30名
中遠	10日	中遠支部 静岡県	磐田市駒場	解体由来混合廃棄物 9.36t	中遠支部会員、県職員50名
西部	平成28年7月8日	西部支部 浜松市	浜松市北区	一般廃棄物2,250kg、 産業廃棄物520kg	西部支部会員、浜松市職員、 自治会97名
計					305名

※伊豆支部の伊東市八幡野の不法投棄廃棄物の撤去等作業に対し、11月2日、伊東市長立会のもと、県くらし・環境部長から感謝状が授与された。

- ④ 平成 28 年 5 月 11 日に静岡市において中部四県「産業廃棄物不法処理防止連絡協議会」合同会議が開催され、国、中部四県（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）及び中部四県の政令市並びに中部四県協会等が参加し、産業廃棄物不法処理防止について情報交換等を行った。

(2) 災害対策支援事業

- ① 平成 28 年 6 月 10 日に沼津市及び 6 月 15 日に藤枝市で開催された「第 1 回災害廃棄物処理に関する広域課題検討会」並びに 10 月 18 日に沼津市及び 10 月 19 日に静岡市で開催された「第 2 回災害廃棄物処理に関する広域課題検討会」に災害対策委員と事務局が出席し、情報交換等を行った。
- ② 平成 29 年 1 月 17 日に静岡県が実施した地震対策オペレーション 2017 (大規模頭上訓練) に併わせて、災害廃棄物処理等の協力会員 348 社を対象に災害廃棄物処理情報伝達訓練を実施した。調査票の回収率が前年度に比べ 13.7%アップし 80.2%となった。
- ③ 平成 29 年 2 月 6 日に静岡市で開催された「災害時応援協定締結事業者との研修・情報交換会 (主催：静岡県)」に災害対策委員長と事務局が出席し、情報交換等を行った。

2 適正処理啓発事業

(1) ぼくらはさんぱい探偵団事業

① 身近かな環境学習の場の提供として、平成28年7月26日から8月5日にかけて、「ぼくらはさんぱい探偵団(夏休み産業廃棄物処理施設親子見学会)」を7支部で実施(中部支部は静岡地区、清水地区に分けて実施)し、小学生の親子等129組323名が参加した。

支部名	開催日	見学先	参加者数
伊豆	平成28年 8月1日	・(株)駿河サービス工業 ・(株)ヤクルト本社富士裾野工場	9組23名
東部	3日	・(株)駿河サービス工業 ・(株)ヤクルト本社富士裾野工場	16組40名
富士	5日	・(株)明治東海工場 ・(株)チューサイ	18組46名
中部 (静岡地区)	2日	・(株)イーシーセンター富士ステーション ・(株)ヤクルト本社富士裾野工場	20組50名
中部 (清水地区)	4日	・(株)明治東海工場 ・(株)三和建商リサイクルセンター	14組35名
志太榛原	3日	・(株)明治東海工場 ・(株)チューサイ	20組43名
中遠	7月28日	・ハウス食品(株)静岡工場 ・(株)富士エコサイクル	15組41名
西部	26日	・ハウス食品(株)静岡工場 ・(株)太洋サービス	17組45名
計			129組323名

② 参加した小学生の親子から感想文を募集して、文集CD「ぼくらはさんぱい探偵団」として取りまとめ、感想文提出者をはじめ、視察先及び関係機関等に配布した。

(2) 産業廃棄物処理施設視察会事業

「ぼくらはさんぱい探偵団」の大学生版として、県立大と静岡大の学生等を対象に産業廃棄物処理施設等視察会を2回実施した。

なお、県立大では、本事業がカリキュラムに組み込まれ、単位取得も可能になっている。

実施日	視察先	参加者
平成28年11月28日	・光陽産業(株)	静岡県立大学大学院食品栄養環境科学専攻生・環境生命科学科生及び教員34名
平成29年2月13日	・(株)イーシーセンター富士ステーション ・(株)富士環境保全公社	静岡大学人文社会科学部法学科・経済学科生及び教員12名

(3) 展示会等出展事業

各支部において最寄りの市等が実施する環境イベント等に出展・参加し、不法投棄の防止や3Rの推進などの啓発活動を行った。

支部名	実施日	イベント・内容	参加者
伊豆	平成 28 年 11 月 6 日	「ごみフェスティバル in 伊東」 ・不法投棄防止呼び掛け、ティッシュの配布等	役員等 8 名
東部	平成 29 年 2 月 5 日	「2017 ぬまづフリーマーケットフェスティバル&消費生活展」 ・支部会員からの提供品によるバザー ・売上収益 (166,070 円) を寄託	役員等 13 名
富士	平成 28 年 11 月 5 日	「富士市産業まつり商工フェア」 ・環境クイズ等の実施	役員等 11 名
中部	10 月 15 日 ～16 日	「第 14 回静岡市ごみリサイクル展」 ・廃食油を使ったエコキャンドル作りの体験	役員等 14 名
志太榛原	11 月 3 日	「金谷文化産業祭」 ・環境クイズ等の実施	役員等 9 名
中遠	9 月 23 日	環境教育プログラム ・森町立森中学校で 3R 教育を実施	役員 14 名
西部	8 月～9 月	浜松市西部清掃工場において、支部会員の環境等報告書を展示啓発	会員 15 社

3 能力開発支援事業

(1) 各種会議等への参加による情報収集

【(公社)全国産業廃棄物連合会関係】

開催日	開催場所	会議名	出席者(協会)
平成28年 6月17日	東京都	第6回定時総会	会長、副会長、専務理事、理事
7月12日	岐阜市	中部地域協議会第1回専務理事会議	専務理事
20日	静岡市	中部地域協議会第1回会長・理事長会議	会長、専務理事
		中部地域協議会第1回全体会議	会長、副会長、専務理事、理事
29日	東京都	第1回全国正会員事務局責任者会議	専務理事
10月21日	東京都	全国正会員事業研修	担当者
11月11日	岡山市	第15回産業廃棄物と環境を考える全国大会	副会長、専務理事
15日	静岡市	中部地域協議会第2回専務理事会議	専務理事
平成29年 1月13日	東京都	新年賀詞交歓会	会長、副会長、専務理事、理事
23日	名古屋市	中部地域協議会第3回専務理事会議	専務理事
2月3日	東京都	第2回全国正会員事務局責任者会議	専務理事
9日	名古屋市	中部地域協議会第2回会長・理事長会議	副会長、専務理事
		中部地域協議会第2回全体会議	副会長、専務理事
23日	東京都	人材育成方策検討報告会	専務理事
24日	東京都	全国正会員会長・理事長会議	副会長、専務理事
28日	東京都	第1回教育研修委員会	専務理事

(2) 産業廃棄物処理業許可指導・相談事業

産業廃棄物処理業許可手続をはじめ、適正処理やりサイクル等に係わる指導、相談を協会本部で電話等により随時対応した。

(3) 講習会事業

①食品廃棄物の適正処理に係る研修会

開催日	開催場所	内 容	受講者
平成28年 7月21日	静岡市	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄食品の横流し事案に関する衛生上の問題点 ・静岡県からの情報提供 ・事例発表 ・特別講義「ダイコー事件で浮き彫りとなった適切な排出事業者責任の在り方」 	84名

②環境管理講座

開催日	開催場所	内 容	受講者
平成28年 11月9日	静岡市	<ul style="list-style-type: none"> ・水俣条約発効に伴う大気汚染防止法等改正の概要 ・静岡県におけるPCB廃棄物の処理 ・水銀廃棄物情勢について 	119名

③産業廃棄物処理実務研修会

開催日	開催場所	内 容	受講者
平成 28 年 7 月 15 日	静岡市	「産業廃棄物処理実務者研修会ー基礎コースー」 ・産業廃棄物の基礎 ・産業廃棄物の委託処理と委託契約 ・産業廃棄物管理票、帳簿	161 名

④電子マニフェストシステム実務研修会

開催日	開催場所	内 容	受講者
平成 28 年 8 月 23 日 24 日 30 日	静岡市 浜松市 三島市	「電子マニフェストシステム実務研修会」 ・電子マニフェストシステムの仕組みと運用 ・電子マニフェストシステムの操作体験 ※各会場とも午前、午後各 1 回開催	計 110 名
平成 29 年 2 月 16 日 17 日 21 日	静岡市 三島市 浜松市		

⑤平成 28 年度産業廃棄物処理業者優良認定推進事業【県委託事業】

i) 産業廃棄物処理業者優良認定制度普及研修会

開催日	開催場所	内 容	受講者
平成 28 年 9 月 13 日	静岡市	[基礎研修] ・静岡県における産業廃棄物処理優良認定制度 ・優良認定業者認定制度に基づく情報公表 と制度活用 ・優良認定制度活用事例 [実務研修] ・違反事例に学ぶ廃棄物処理法 ・環境保全への取組み ～エコアクション21のご案内～ ・優良認定制度の概要	計 63 名

ii) 産業廃棄物処理業者優良認定制度実践研修会

開催日	開催場所	内 容	受講者
平成 28 年 8 月 17 日 9 月 7 日 10 月 7 日	静岡市	産廃情報ネット「さんばいくん」を利用した情報公表のための入力作業を行い、優良産業廃棄物処理業者認定制度の認定基準のひとつ「事業の透明性」への適合を目指す研修会。	計 12 社 (12 名)

(4) 専門部会活動事業

①医療廃棄物部会

i) 平成 28 年 5 月 18 日、8 月 10 日、平成 29 年 3 月 10 日に幹事会を開催し、医療廃棄物合同懇談会及び部会事業等について協議した。

ii) 平成 28 年 9 月 16 日に静岡市で当協会、(一社)東京都産業廃棄物協会、(公社)神奈川県産業廃棄物協会との医療廃棄物合同懇談会を開催し、医

療廃棄物の適正処理について意見交換するとともに、「3 都県協会共同宣言」の策定について協議した。また、この感染性廃棄物等の適正処理のための「3 都県協会共同宣言」は、平成 29 年 3 月に策定し、4 月から医療機関に向けて周知を実施する。

- iii) 平成 28 年 11 月 14 日に静岡市で開催された「鳥インフルエンザ等発生時の防疫作業協力協定締結団体との研修・情報交換会（主催：静岡県）」に部会幹事及び事務局が参加した。
- iv) 平成 29 年 3 月 9 日に開催された（公社）全国産業廃棄物連合会医療廃棄物運営委員会に部会長が出席した。

②建設廃棄物部会

- i) 平成 28 年 12 月 6 日に幹事会を開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 平成 29 年 2 月 24 日の視察研修会には、部会員 6 名が参加して、㈱トクヤマ・チヨダヂプサム関東工場を見学した。
- iii) 3 月 7 日に総会及び勉強会を開催し、平成 29 年度事業等について協議した。

勉強会には、（一社）東京都産業廃棄物協会 伊藤雅人常任理事兼建設廃棄物委員会建設混合廃棄物分科会座長及び横手浩次事務局長を招き、「関東地域における建設廃棄物適正処理に係る取組み」というテーマで講話を行い、部会員 12 名が受講した。

③食品廃棄物部会

- i) 平成 28 年 5 月 20 日に部会幹事と本部適正処理委員との合同会議を開催し、食品廃棄物の不適正な転売事案の再発防止策等について協議した。
- ii) 12 月 20 日に幹事会を開催し、部会事業等について協議した。
- iii) 平成 29 年 3 月 8 日に総会及び勉強会を開催し、平成 29 年度事業等について協議した。

勉強会には、部会員 10 名が参加し、箕威頼部会長の「廃棄食品実地確認チェックリストの活用」という講話を受講した。

- iv) 3 月 17 日の視察研修会には、部会員 5 名が参加して、㈱日本フードエコロジーセンターを見学した。

④青年部会

- i) 平成 28 年 7 月 8 日、9 月 14 日、11 月 22 日、平成 29 年 1 月 27 日、2 月 24 日に幹事会を開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 5 月 12 日に総会を開催し、平成 27 年度事業等の報告をした。
- iii) 7 月 8 日に部会員交流会を開催し、部会員相互の親睦を深めるとともに、情報交換等をした。
- iv) 9 月 21 日に、（一社）山梨県産業廃棄物協会青年部、（公社）神奈川県産業廃棄物協会青年部会との富士山合同清掃活動を行った。
- v) 10 月 14 日の視察研修会には、部会員 13 名が参加して、㈱シタラ興産を見学した。

vi) 平成 29 年 1 月 27 日に (一社) 静岡県トラック協会青年部会との合同勉強会を開催し、「次世代を担う我々が知っておくべきこと、やるべきこと～事故をなくせ! リスクを減らせ!～」というテーマでグループディスカッションを行った。

vii) 3 月 4 日に全国産業廃棄物連合会青年部協議会第 10 回全国大会が宮城県で開催され、部会員 8 名が参加した。

(5) 協会機関誌「しずおかの産廃」発行等事業

① 協会機関誌「しずおかの産廃」を年 4 回発行し、協会本部や各支部の活動状況、行政機関から寄せられた情報等に関する各種情報を提供した。

② 「産廃技術ニュース」を年 4 回発行し、産業廃棄物の処理技術、処理施設に関する各種情報を提供した。

4 産業廃棄物管理票 (マニフェスト) 頒布事業

産業廃棄物処理における適正な管理を推進するため、産業廃棄物管理票 (マニフェスト) を頒布した。

【平成 28 年度実績】

種 類	頒布枚数 (枚)
産業廃棄物管理票	245,400
建設マニフェスト	94,700
合 計	340,100

5 産業廃棄物処理業許可等講習会事業

(1) 産業廃棄物処理業許可等講習会事業

① (公社) 全国産業廃棄物連合会及び (公財) 日本産業廃棄物処理振興センターと協力し、産業廃棄物処理業の新規許可申請者、更新許可申請者、特別管理産業廃棄物管理責任者を対象に講習会を計 11 回開催し、計 1,451 名の参加があった。

【受講状況】

種 類	開催回数 (回)	参加者 (名)
産業廃棄物収集運搬課程【新規】	3	417
〃 【更新】	3	422
産業廃棄物処分課程 【更新】	1	71
特別管理産業廃棄物管理責任者	4	541
計	11	1,451

② 平成 29 年 2 月 20 日に東京都で開催された「平成 29 年度許可講習会における事務取扱説明会 (主催: (公社) 全国産業廃棄物連合会)」に事務局が出席し、情報交換等を行った。

II 会員相互の扶助事業

1 支部運営事業

各支部（伊豆、東部、富士、中部、志太榛原、中遠、西部）では、支部の運営、適正処理、広報の3委員会のもと、支部独自または本部との連携により、各種事業を実施した。

(1) 支部総会及び支部委員会の開催

支部総会……………各支部6月に開催

支部委員会……………随時

(2) 「支部だより」の発行

伊豆、東部、中部、志太榛原の各支部で発行

(3) 勉強会等の実施

支部名	開催日	内 容	参加者(名)	備考
伊豆	平成28年 6月23日	映画監督 ヤン ヨンヒ (梁 英姫) 氏 による講演 「映画でおしゃれに暇つぶし」	11	
東部	平成29年 3月16日	「勉強会」 ・廃棄物処理法入門 ～廃棄物の判断基準を学ぼう～ ・産業廃棄物処理業許可関係事務取扱要領の改正点	51	
富士	15日	「合同勉強会」 ・イキイキ話して元気に！温泉で健康に！ ・富士市の大気の現状について	40	(一社)富士 環境保全協 会と共催
中部	16日	「勉強会」 ・イキイキ話して元気に！温泉で健康に！ ・静岡市における産業廃棄物処理業者及び 排出事業者への立入検査について	40	
志太榛原	24日	「勉強会」 ・企業における交通安全 ～たかが交通安全、されど交通安全～	25	
中遠	3日	「廃棄物セミナー」 ・廃棄物不適正処理事案について ・廃棄物管理の基礎（実地確認編）	40	
西部	2月16日	「浜松市産業廃棄物の適正処理に係わる説明会」 ・PCB 廃棄物の適正な処理の推進について ・廃棄物管理のよくある質問 「特別講演」 ・排出事業者責任の本質と実務上の注意点	600	浜松市 と共催
計			807	

(4) 優良施設視察研修会の実施

支部名	開催日	見 学 先	参加者(名)
伊豆	平成 28 年 11月17日～18日	・東芝環境ソリューション(株) (横浜市) ・川崎エコ暮らし未来館 (川崎市)	9
東部	18日	・(株)太洋サービス (浜松市) ・浜松市エコハウスモデル住宅 (浜松市)	15
富士	8日～9日	・加山興業(株) (豊川市)	9
中部	10月20日～21日	・石坂産業(株) (埼玉県入間郡三芳町)	22
志太榛原	28日～29日	(第1回) ・大井川源流部の現状視察 (静岡市)	10
	平成 29 年 3月15日	(第2回) ・静岡市中島浄化センター (静岡市)	21
中遠・西部	平成 28 年 11月22日	・(株)太洋サービス (浜松市) ・浜松市エコハウスモデル住宅 (浜松市)	18
計			104

2 意識啓発向上事業

(1) 視察等事業

本部による県外優良施設の視察研修は、平成 28 年 5 月 26 日に「2016NEW 環境展」を対象に会員 93 名の参加により実施し、廃棄物処理、リサイクル技術、企業の環境経営等の情報収集に努めた。

(2) 暴力追放推進事業

- ① 平成 28 年 6 月 7 日の定時総会開催後に「(公社) 静岡県産業廃棄物協会暴力追放推進協議会第 17 回大会」を開催し、暴力追放宣言の斉唱などを行った。
- ② 12 月 13 日に静岡市内で「不当要求防止責任者講習会」を開催し、会員 107 名が参加した。受講者には、静岡県公安委員会より受講修了書が発行された。
- ③ 11 月 15 日に沼津市内で開催された「第 34 回静岡県暴力追放・銃器根絶県民大会」に東部支部役員等 8 名が参加した。

(3) 労働安全衛生事業

- ① 平成 28 年 9 月 28 日に安全衛生委員会を開催し、労働災害防止計画の策定等について協議した。
- ② 平成 29 年 2 月 14 日に静岡労働局による「改正労働安全衛生法に係る化学物質リスクアセスメント等」をテーマに安全衛生講習会を開催し、会員 64 名が参加した。
- ③ 労働災害 20%以上の削減を目指す平成 29 年度労働災害防止計画を策定し、機関誌「しずおかの産廃 (冬号)」の配布に併せて会員 (産業廃棄物処理業者) に周知した。

(4) 表彰

① 産業廃棄物適正処理推進功労者知事褒賞

平成 28 年 6 月 7 日の定時総会に先立ち平成 27 年度知事褒賞授与式が行われ、会員企業 1 社が受賞した。

【受賞者】

・浜松ホトニクス㈱

② (公社) 静岡県産業廃棄物協会会長表彰

平成 28 年 6 月 7 日の定時総会に先立ち平成 27 年度会長表彰が行われ、功労者表彰 5 名、優良従事者表彰 9 名、優良事業所表彰 2 社が受賞した。

【受賞者】

(敬称略)

表彰名	被表彰者
功労者表彰	(有)荒川土建工業 渡邊 康弘
	サキ工業㈱ 稲本 浩士
	協和発酵キリン㈱富士工場 坂倉 幹
	鈴与建設㈱ 伏見 公年
	富士フィルム㈱吉田南事業場 松田 司
優良従事者表彰	セキトランスシステム㈱ 杉山 泰央
	セキトランスシステム㈱ 海道 隆仁
	矢崎部品㈱裾野製作所 西川 澄江
	㈱クリーンコントロールサービス 若林みどり
	丸徳商事(有) 内海 光男
	日徳産業(有) 山田 容子
	(有)エー・ワイ環境開発 山本 隆男
	㈱トーカイ 入手 由介
	㈱ミダック 山口 浩
優良事業所	㈱タカダ産業
	㈱ハイナン

③ (公社) 全国産業廃棄物連合会会長表彰

平成 28 年 6 月 17 日に開催された(公社)全国産業廃棄物連合会の定時総会に先立ち行われた表彰式において、当協会会員の中から、功労者表彰 1 名、優良事業所表彰 1 社、地方功労者表彰 2 名、地方優良事業所表彰 1 社、優良従事者表彰 3 名が受賞した。

【受賞者】

(敬称略)

表彰名	被表彰者
功労者表彰	マーセリサイクル㈱ 海野ひろみ
優良事業所表彰	桜井資源㈱
地方功労者表彰	㈱チューサイ 渡辺 和良
	都商事㈱ 宮原 徹
地方優良事業所表彰	㈱チューサイ
優良従事者表彰	㈱井出組 渡邊 邦彦
	丸徳商事(有) 望月 一頼
	丸徳商事(有) 中川加志男

Ⅲ 管理運営

1 定時総会・理事会等の開催

(1) 定時総会

平成28年6月7日にホテルセンチュリー静岡で平成28年度定時総会が開催され、議案2件が原案どおり決議（承認）された。

また、報告1件が行われた。

【決議事項】

第1号議案 平成27年度事業報告及び平成27年度収支決算書

第2号議案 任期満了に伴う役員改選

【報告事項】

(1)平成28年度事業計画書及び平成28年度収支予算書

【出席等】

議決権のある当法人の会員総数 1,035名

決議に必要な会員数 1,035名

出席会員数 657名

(議決権行使書面によるもの553名含む)

(2) 理事会

① 平成28年4月25日に静岡グランドホテル中島屋で第1回理事会が開催され、議案3件が原案どおり決議（承認）され、そのうち2件が平成28年6月7日開催の定時総会に付議された。

また、報告2件が行われた。

【決議事項】

第1号議案 平成27年度事業報告及び平成27年度収支決算書

第2号議案 任期満了に伴う役員改選

第3号議案 副会長の会長職務の代行順序と業務分担

【報告事項】

(1)会員証・倫理綱領、誓約書に関する提案への対応

(2)平成27年度下半期（平成27年10月～平成28年3月）事業の実施状況

【出席等】

理事総数 27名

決議に必要な理事の数 14名

出席理事数 19名

出席監事数 1名

② 平成28年6月7日にホテルセンチュリー静岡で第2回理事会が開催され、議案2件が原案どおり決議（承認）された。

また、報告1件が行われた。

【決議事項】

- 第1号議案 会長、副会長、専務理事の選定
第2号議案 支部長の任免

【報告事項】

- (1)熊本地震への義捐金30万円の寄託

【出席等】

理事総数	29名
決議に必要な理事の数	15名
出席理事数	26名
出席監事数	1名

- ③ 平成28年11月2日に静岡グランドホテル中島屋で第3回理事会が開催され、議案2件が原案どおり決議（承認）された。

また、報告5件が行われた。

【決議事項】

- 第1号議案 新規会員の入会
第2号議案 公益社団法人静岡県産業廃棄物協会労働災害防止計画の策定

【報告事項】

- (1)伊豆支部の不法投棄廃棄物回収作業に県から感謝状の贈呈
(2)本県で開催された中部4県協会関係会議の概要
(3)本県で開催された医療廃棄物3都県協会合同懇談会の概要
(4)山梨・静岡・神奈川県協会青年部の富士山合同清掃活動
(5)平成28年度上半期事業の実施状況

【出席等】

理事総数	29名
決議に必要な理事の数	15名
出席理事数	21名
出席監事数	2名

- ④ 平成29年3月23日に中島屋グランドホテルで第4回理事会が開催され、議案7件（うち2件が6月14日開催の定時総会へ付議）が原案どおり決議（承認）された。また、報告4件が行われた。

【決議事項】

- 第1号議案 平成29年度事業計画書及び平成29年度収支予算書
第2号議案 公益社団法人静岡県産業廃棄物協会定款の一部変更
第3号議案 役員の新規選任
第4号議案 平成29年度定時総会の開催
第5号議案 新規会員の入会
第6号議案 平成28年度会長表彰
第7号議案 廃棄物不法投棄の情報提供に関する静岡県との協定締結

【報告事項】

- (1) 静岡県公益認定等審議会の立入検査結果
- (2) 平成 29 年度全国産業廃棄物連合会会長表彰に係る被表彰者の推薦
- (3) 廃棄物処理法の見直し状況
- (4) 全国産業廃棄物連合会の名称変更

【出席等】

理事総数	29 名
決議に必要な理事の数	15 名
出席理事数	21 名
出席監事数	1 名

- (3) 会長・副会長連絡会議
平成 29 年 2 月 10 日に会長・副会長会議が開催され、中間処理部会の設置等についての協議が行われた。
- (4) 運営委員会
平成 28 年 4 月 15 日、10 月 11 日、平成 29 年 3 月 14 日に運営委員会が開催され、総会及び理事会へ付議する議案等についての協議が行われた。
- (5) 適正処理委員会
平成 28 年 5 月 20 日、平成 29 年 2 月 20 日に適正処理委員会が開催され、適正処理事業等についての協議が行われた。
- (6) 広報委員会
 - ①会議
平成 28 年 5 月 17 日、9 月 8 日、12 月 5 日に広報委員会が開催され、機関誌等の発行をはじめ、ぼくらはさんばい探偵団や産業廃棄物処理施設等視察会の実施計画等についての協議が行われた。
 - ②主な広報 P R
 - i) エフエム放送局 K-M I X 社が 6 月に実施する「グリーンスタイルキャンペーン」に協賛して、エコ新聞への広告掲載やラジオ CM による当協会の P R を行った。
 - ii) 平成 28 年 12 月 14 日の富士支部が富士宮市猪之頭で実施した不法投棄廃棄物撤去作業及び平成 29 年 2 月 1 日の東部支部が長泉町東野で実施した同事業がテレビ放映及び新聞掲載された。
 - iii) 東部支部の平成 29 年 2 月 5 日開催の「2017 ぬまづフリーマーケットフェスティバル&消費生活展」でのバザー収益金 (166, 070 円) の「愛の都市訪問」への寄託が新聞に掲載された。
- (7) 災害対策委員会
平成 28 年 12 月 15 日、平成 29 年 2 月 22 日に災害対策委員会が開催され、静岡県災害廃棄物処理計画への対応等について協議するとともに、県廃棄物リサイクル課と災害廃棄物処理等に関する協定の運用等について意見交換した。
- (8) 中部地域協議会の本県開催
平成 28 年 7 月 20 日に静岡市で中部地域協議会平成 28 年度第 1 回全体会議及び会長・理事長会議が開催され、中部 4 県協会の役員等 27 名が参加し、活発な意見交換等が行われた。

2 新規会員の入会促進と会員管理システムの運用

(1) 新規会員の入会促進

会員以外も参加する講習会等において、入会案内の配布等により新規会員の入会促進に努めたが、6件の入会にとどまった。

その一方で16件の退会等があったため、平成28年度末の会員総数は1,080会員となった。

【平成28年度会員数の推移】

区 分		平成28年 4月1日	入 会	退 会	平成29年 3月31日	
正 会 員	処 理 業 者	収 集 運 搬	349	1	5 (2)	343
		中 間 処 分	307	3	2	311
		最 終 処 分	32	0	0	31
	小 計		688	4	7 (2)	685
	排 出 事 業 者	排 出 事 業 者	321	2	6	317
		団 体	28	0	1	27
	小 計		349	2	7	344
	計		1,037	6	14 (2)	1,029
	賛 助 会 員		53	0	2	51
	合 計		1,090	6	16 (2)	1,080

※退会等の主な理由

- ・処理業者では、業の廃止、業務の縮小、会費が1年以上未納等
- ・排出事業者と賛助会員では、事務所等の閉鎖、経費の削減等

※退会の欄の（ ）の数字は、内数で、会費の1年以上未納等による会員資格の喪失

※入会・退会の欄の数字は、区分変更をした会員を含む

(収集運搬から中間処理へ変更4社、中間処理から収集運搬へ変更2社、最終処分から中間処理へ変更1社)

(2) 会員管理システムの運用

会員管理システムを適切に運用し、会員の処理業許可更新時期のお知らせや環境情報の配信等に役立てた。

(3) 会員証と倫理綱領の全会員への配布及び会員からの誓約書の提出

平成28年1月に愛知県で起きたダイコー事件（食品廃棄物の不正転売）を踏まえ、協会一丸となって産業廃棄物の適正処理を進めるため、会員証と倫理綱領をセットにして全会員に配布するとともに、会員から誓約書を提出していただいた。なお、この誓約書の提出は、平成29年3月31日現在912会員となっている。

附属明細書

平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書に記載すべき「事業の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。